

ありがとう箱崎の図書館たち：箱崎地区図書館記念冊子

九州大学附属図書館広報室

<https://doi.org/10.15017/1936931>

出版情報：2018-07. Kyushu University Library
バージョン：
権利関係：



KYUSHU UNIVERSITY



箱崎地区図書館記念冊子

ありがとう
箱崎の図書館たち

箱崎地区図書館閉館によせて

九州大学附属図書館長 宮本 一夫



九州帝国大学附属図書館は、大正11（1922）年に馬出地区の医学部に設置されて本年96年目を迎えました。九州帝国大学附属図書館本館と書庫が箱崎地区の法文学部と工学部の中間に建設され開館したのが、大正14（1925）年のことでした。その瀟洒な建物は、90歳を超えて「保存図書館」として利用されてきましたが、移転後は解体される予定です。戦後の新制大学では、昭和48（1973）年に現在の中央図書館が、理学部と農学部の間に完成し開館しています。

最近、中央図書館が、奇しくも13世紀の元寇防塁の真上に建てられていたことが判明致しました。箱崎地区は、およそ6,500年前の縄文海進期以降海面下に没していましたが、10世紀に遷座した箱崎宮から北側に延びる砂州が次第に形成され、陸化していきました。この箱崎地区は12世紀頃に砂州が延びてやっとで地形的に安定しましたが、現在の宇美川河口や多々良川河口には、その頃、広い内湾が形成されていたのです。箱崎が11世紀から12世紀に華人街として栄えるのは、その内湾を利用した日宋貿易によるものです。13世紀には、箱崎の砂州の稜線上に元寇防塁が築かれ、薩摩武士を中心とした御家人が約50年間にわたって警護に当たっていたようです。その後は松原や農地となり、明治44（1911）年に九州帝国大学として再び土地利用されることとなります。まさにその地に保存図書館と中央図書館が作られたのです。それは近現代における日

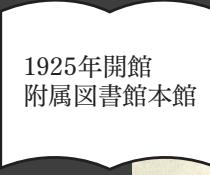
本の知の歴史を物語るものであったかもしれません。

九州大学中央図書館は、開館以来の約100年をかけて、歴代館長と図書館職員の努力により、貴重な図書資料と蔵書数において、全国屈指の大学図書館として成長して参りました。この度の伊都キャンパスへの統合移転事業として、中央図書館、文系合同図書室さらに記録資料館を統合する形で、伊都キャンパスの新中央図書館が本年10月1日に開館致します。さらに、かつての六本松図書館の図書資料も統合されることになり、名実ともに箱崎地区と六本松地区の統合移転が完了することになります。新中央図書館という350万冊収納可能なインフラ整備に加え、これまでの充実したコンテンツをより機能的に利用でき、学習・教育・研究環境を充実させるものです。新中央図書館は、大学図書館としては全国最大規模の図書館になります。伊都キャンパスでは、人社系と基幹教育院を中心とする新中央図書館とともに、伊都図書館を理系の図書資料に特化した理系図書館として、一体的に運営することにより、ますます充実した図書館サービスを教職員・学生に提供できるものと期待しております。そして、近世・近代の古文献史料の収集・保存や調査・研究する記録資料館と、IT教材や教育ビデオを製作する教材開発センターを併設することにより、理想の大学図書館像が形成されるものと思われます。

平成30年7月31日

目次

写真で見る箱崎の図書館たち(1)	2
沿革	4
データで見る図書館の変遷	8
私と図書館	9
保存図書館・中央図書館 図面	11
アイテムで見る図書館の歴史	12
写真で見る箱崎の図書館たち(2)	13



1925年開館
附属図書館本館



[1] 1925 新築当時の正面外観 約90年間箱崎キャンパスを見守ってきた。



[2] 2018 正面外観



[3] 1928 閲覧室 当時内装の装飾は九大一といわれた。



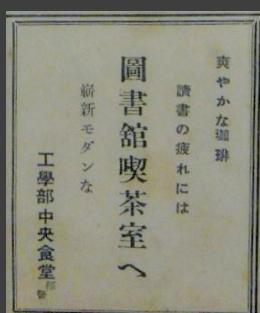
[4] 1965 出納台



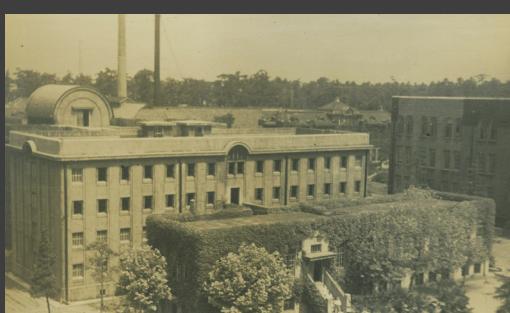
[5] 1965 書庫



[6] 1949 事務室 竣工当時は事務室がなく、後に建て増しされた。



[7] 1936 図書館喫茶室広告



[8] 1949 本館裏 手前の低い建物が事務室だった。



[9] 2017 本館裏

附属図書館本館は、1972年に中央図書館が新築されたのちも、2018年まで「保存図書館」として利用され続けた。

明日の「働く」を、デザインする。

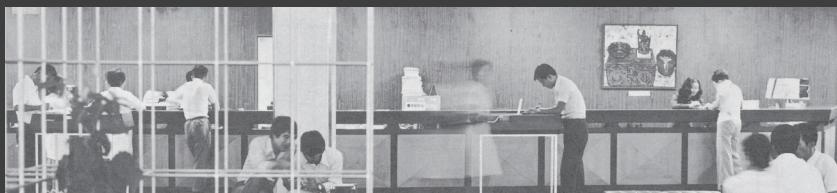
We Design Tomorrow. We Design WORK-Style.



1973年開館
中央図書館



[10] 1972 竣工時外観 資料の利用しやすさと閲覧スペースの確保を目的とした新しい図書館は、検討開始から20年を経てようやく建設が実現した。



[11] 1974 メインカウンター



[15] 2017 玄関 45年間、時代に応じたサービスを取り入れながらも、変わらない姿で迎えてくれた。



[12] 2013 2Fきゅうとコモンズ
いつも大賑わいだった自由な学習空間。



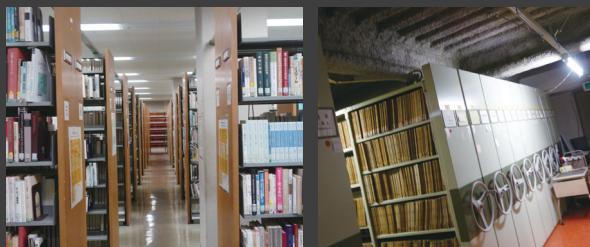
[13] 2012 2F情報サロン
授業や講習会にも利用された。



[16] M2F雑誌書庫 まるで迷宮のような雰囲気。



[14] 2012 3F閲覧室 朝から晩まで勉学にいそしむ姿が見られた。



[17] 3F 開架閲覧室



[18] 1F 保存書庫

Kijima 城島印刷株式会社
Printing, Inc.

本社・工場：〒810-0012 福岡市中央区白金2-9-6 TEL 092-531-7102 FAX 092-524-4411

東京事務所：〒272-0137 千葉県市川市福栄1-17-8-101 TEL.047-314-5602 FAX.047-314-5690

URL:<http://www.kijima-p.co.jp>

沿革

明治	36	1903. 4		京都帝国大学福岡医科大学創立
	41	1908.11	馬出地区に京都帝国大学図書閲覧室竣工（1909.9.20 開館）	
	44	1911. 1		九州帝国大学創立
大正	11	1922. 5	九州帝国大学附属図書館設置	
		7	初代附属図書館長として小川政修（医）就任	
	12	1923.10	本部及び数学物理学教室（工）が狩野亨吉から図書を購入	
	13	1924. 3	ライプツィヒ大学教授P・バルトの旧蔵書を購入	
		7	貝原益軒書簡・竹田家歴代書簡を県立図書館と分割して購入	
		9	箱崎地区に法文学部創設	
		12	ベルリン大学教授C・シュトゥンプの旧蔵書を購入	
	14	1925. 4	第二代附属図書館長として長壽吉（法文）就任	
		6	箱崎地区に附属図書館本館と書庫が竣工（同年開館）	
			初代司書官として竹林熊彦就任	
		7	附属図書館の事務を馬出地区的図書閲覧室から新築図書館に移す	
		12	私立福岡図書館の旧蔵書が寄託される（廣瀬文庫）（戦後購入）	
	15	1926. 3	井口孝親（法文）及びオーストリアの政治家G・グロースの旧蔵書を購入	
		7	国際的劇作家郡虎彦の旧蔵書が寄贈される	
		11	ベルン大学総長F・ロートマールの旧蔵書を購入	
昭和	2	1927.10	寶松院主松濤泰巖（法文）の蔵書が寄託される（戦後購入）	
	3	1928. 3	九州帝国大学創立記念日、法文学部開学式「図書館学参考書展覧会」開催	
		4	法文学部中央整理室廃止、法文学部購入図書を本館にて整理開始	
	4	1929. 2	天文学者寺尾壽の旧蔵書を購入（音無文庫）	
		6	東京帝国大学教授萩野由之の旧蔵書を購入（1932年目録刊行）	
		9	郷土史家江島茂逸の自筆稿本・旧蔵書が寄贈される	
		11	植物検査官西田藤次の旧蔵書が農学部に寄贈される	
	6	1931. 2	箱崎地区的農学部農芸化学教室の火災により、同教室図書室の蔵書の大半を焼失	
		8	八女酒井田の漢学者樋口和堂の旧蔵書が寄贈される	
		10	国学者江藤正澄の自筆稿本・書簡類が寄贈される	
	7	1932.10	『九州帝国大学図書目録』発刊（～1941）	
	8	1933. 8	平戸藩儒楠本碩水の旧蔵書を購入（翌年目録刊行）	
	9	1934. 9	法文学部に九州文化史研究所設置	
		11	全国図書祭記念大展覧会開催	
			平戸藩士近藤畏斎の旧蔵書を購入	
	10	1935. 7	司書田中鉄三と松浦書店主松浦盛雄が中心となり、竹帛会結成	
	11	1936. 3	農学部書庫及び標本庫竣工	
		12	成瀬正一（法文）の旧蔵書を購入	
	12	1937.12	瀬高の庄屋・漢学者西田幹治郎の旧蔵書を購入	



長壽吉館長（1925年）



農学部書庫及び標本庫（1936年）

 **Kinoden**
Kinokuniya Digital Library

スマートフォンからも快適に閲覧できる
学術と書電子書籍サービスが始まりました。

お問い合わせ・トライアルのお申込
株式会社紀伊國屋書店 福岡営業部 福岡営業所
TEL : 092-437-5353 e-mail : ict_ebook@kinokuniya.co.jp



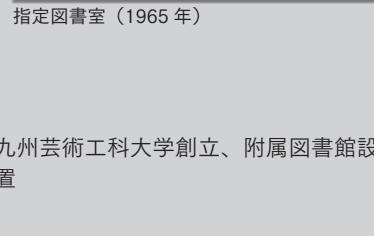
よりよい保管システムを提供する

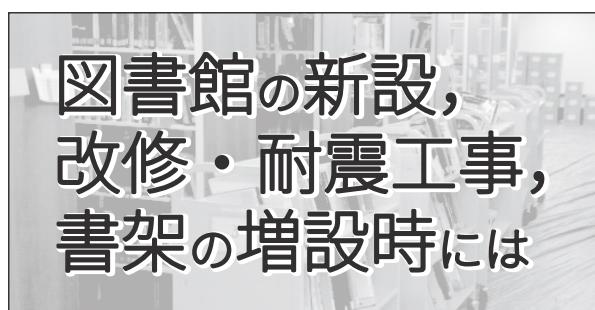
 **日本ファイリング**

本社 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2(新御茶ノ水アーバンビル)
TEL 03(5294)3011 FAX 03(5294)3012

福岡営業所 〒812-0036 福岡市博多区上呉服町10-1(博多三井ビル)
TEL 092(262)2341 FAX 092(282)1241

<https://www.nipponfiling.co.jp>

昭和	15	1940. 2	附属図書館本館に指定図書室設置	 <p>「大東亜戦争海戦写真展覧会」(1942年)</p>
	16	1941. 7	藩校修猷館教授宗盛年の旧蔵書が寄贈される（逍遙文庫）	
	17	1942. 3	長沼賢海（法文）の旧蔵書（洋書）を購入（翌年目録刊行）	
	18	1943. 1	応召中の司書草場光フィリピンパナイ島にて戦死	
	19	1944. 1	工学部から理学部物理学教室に科学史文献が移管される（後の桑木文庫）	
		6	商議委員会で図書の学外疎開決定	
20	1945. 3	豊田實（法文）の旧蔵書を購入（筑紫文庫）		
	5	福岡医家武谷家の蔵書を受領（戦後寄託契約、1971年返却）		
	8			
	11	疎開図書を回収（～1946）		
22	1947.10			
	24	1949. 3	宇土細川家の旧蔵書を購入	 <p>医学部分館設置 六本松地区に教養部分館設置</p>
		5	箱崎地区に産業労働研究所設置認可	
25	1950.10	斯道文庫の蔵書が寄託される（麻生文庫） (1958年期限満了後慶應義塾大学へ)		
26	1951. 3	金田平一郎（法文）の旧蔵書を購入		
30	1955. 6	宇美町長武内謙介の旧蔵書が寄贈される		
31	1956. 3	西山重和（法）の蔵書を購入		
	7	文献複写業務開始		
34	1959. 3			
35	1960. 3	箱崎地区に理学部本館竣工、新図書室に各教室図書室が統合		
	7	中山森彦（医）・平次郎（医）の旧蔵書が寄贈される		
	12	農学部に西欧農学古典文庫設置		
37	1962. 4	附属図書館本館に開架閲覧室開設	 <p>九州芸術工科大学創立、附属図書館設置</p>	
	12	法学部、経済学部が貝塚地区に移転		
38	1963. 4	附属図書館本館で利用者による書庫内検索の開始		
39	1964. 7	文学部が貝塚地区に移転		
40	1965. 3	江崎悌三（農）の旧蔵書を農学部が購入		
	4	九州文化史研究所が文学部附属九州文化史研究施設に改組		
	9	館報『図書館情報』発刊（～2006） 『九州大学学術雑誌目録』刊行（～1976）		
43	1968. 4			
44	1969. 7	大学紛争の中で附属図書館本館が「封鎖」される		
46	1971. 2	菊池勇夫（法）の旧蔵書が寄贈される		
	4	附属図書館本館の分類にNDCを採用（1925年以来の旧分類を廃止）		
47	1972.11	箱崎地区に新図書館（中央図書館）竣工（1973.3.6開館）		
48	1973. 3	農学部・理学部の蔵書を中央図書館に搬入（4.3閲覧業務開始）		
49	1974. 1	旧附属図書館本館を保存図書館として運用開始		



ナカバヤシの書籍移動

- 図書館改修・新設に伴う、資料の移動から配架までの作業をトータルでサポート！！
- 独自の配架シミュレーションで配架作業効率を格段にアップ！！
- 全国実績に裏付けられた安心の信頼度。まずはお気軽にご相談下さい！！

ナカバヤシ株式会社 福岡支店 図書館ソリューション営業部
福岡市東区箱崎ふ頭5丁目7番11号 TEL: 092(641)3661 FAX: 092(641)3699
HP: <http://www.nakabayashi.co.jp/> MAIL: toshokan@nakabayashi.co.jp

昭和	49	6	中央図書館で時間外開館開始、ブラウジングルーム設置
	50	1975. 3	具島兼三郎（法）の蔵書が寄贈される
		8	田村専一郎（養）の旧蔵書が搬入される（支子文庫）（1979年購入）
	51	1976. 9	教官に対する学内共通帯出券の発行
	52	1977. 3	名古屋大学教授信夫清三郎の旧蔵書が寄贈される
	53	1978. 5	中央図書館貴重文物展観 (翌年より附属図書館貴重文物展示として継続開催)
		6	支子文庫所収の『大和物語』が国重要文化財に指定される
	54	1979. 3	フランス国立古文書学校教授 C・ペラ及び江崎悌三（農）の旧蔵書を購入
		4	産業労働研究所が廃止され、石炭研究資料センターが設置される
	55	1980. 4	業務電算化開始
		9	朝鮮学者前間恭作の旧蔵書が寄贈される（在山樓文庫）
	56	1981. 1	ネットワーク型図書館業務システム導入（国立大初） 北部九州地区国立大学図書館機械化ネットワークの地域センターとしての業務を開始
	57	1982. 2	
		9	内田恵太郎（農）の旧蔵書が寄贈される
	58	1983	陽明学者高瀬武次郎の旧蔵書が寄贈される
		7	ミュンヘン大学法学部教授 W・クンケルの旧蔵書を購入
	59	1984	美術史家相見香雨の旧蔵書が寄贈される
	61	1986.12	北部九州地区国立大学図書館機械化ネットワークと学術情報センターのネットワークを接続
	62	1987.10	中央図書館の書庫増築（5,116m ² ）総延面積 13,176m ² となる
	63	1988. 6	学術情報センターに目録データ入力開始



中央図書館新館工事（1972年）

教養部分館 開館

医学分館（現・医学図書館）開館



中央図書館増築工事（1987年）

平成	3	1991. 4	中央図書館に入退館システムを導入
	4	1992. 4	OPAC サービス開始 学術情報センター ILL システム（NACSIS-ILL）の運用開始
		10	新キャンパスにおける新図書館構想の検討を開始
	6	1994. 4	文学部附属九州文化史研究施設が大学院比較社会文化研究科九州文化史資料室に改組
	8	1996. 4	附属図書館研究開発室を設置
		7	遡及入力事業を開始
	9	1997. 4	中央図書館の休日開館を実施
	11	1999. 3	ソウル大学校中央図書館と図書館間交流協定を締結（国内初）
		4	中央図書館と工学部中央図書室に情報サロン図書館分室と工学部分室を開設
	12	2000. 4	中央図書館に海外衛星放送受信設備を設置、図書資料配送サービスを開始
		5	

教養部改組により、教養部分館から六本松分館に改称



中央図書館情報サロン（1999年）

筑紫地区に筑紫中央図書室を開設



（2018年3月 新工場が竣工しました。）

図書館家具、書庫設備、文化施設の展示・収蔵庫設備、オフィス、病院、工場・倉庫の保管システムメーカー



金剛株式会社

熊本本社 / 〒860-8508 熊本市西区上熊本3丁目8-1

TEL 096-355-1111(大代) FAX 096-352-0227

福岡支店 / 〒813-0043 福岡市東区名島3丁目2-10

TEL 092-681-6286 FAX 092-681-3031

平成 13	2001. 2	福岡市総合図書館と相互協力協定締結	
	4	研究開発室、情報基盤センターとの協力により情報リテラシー教育を開始	筑紫中央図書室、筑紫分館となる
	10	中央図書館の平日の開館時間を午後 10 時までに延長	
14	2002. 7	中央図書館における一般市民等への直接貸出を開始	
15	2003.10		九州大学と九州芸術工科大学が統合 大橋地区に芸術工学分館設置
16	2004. 3	福岡県立図書館と相互貸借協定締結	
	4		国立大学法人九州大学となる
	7	「ラテン語古刊本書誌作成研修会」が国立大学図書館協会賞受賞	筑紫分館が新築された総合研究棟内に 開館、自動書庫を導入（国立大学初）
17	2005. 2	福岡県図書館協会の事業として、福岡県立図書館及びアクロス福岡との共催により、アクロス福岡を会場に展示会「シーボルトが見た日本」を開催	
	4	貝塚地区の文系 4 部局図書室が統合し、文系合同図書室が発足 記録資料館を付設	
	10	伊都地区に理系図書館開館	伊都キャンパス開校
18	2006. 4	九州大学学術情報リポジトリ（QIR）を公開	
	12	館報「きゅうと NEWSLETTER」を創刊（2006.3 「図書館情報」終刊）	
19	2007. 4	中央図書館の早朝開館開始	
20	2008. 9	学外からの e リソース利用サービス「どこでもきゅうと」運用開始	
21	2009	東京大学法学部教授滋賀秀三の旧蔵書が寄贈される	
	2		六本松地区移転に伴い、六本松分館閉館
	4	理系図書館から伊都図書館に改称	
	11	中央図書館に「きゅうとコモンズ」設置	
22	2010	中野三敏（文）の旧蔵書を購入（雅俗文庫）	
23	2011. 2	大学院統合新領域学府「ライブラリーサイエンス専攻」設置	
	4	教材開発センターを付設	
24	2012. 1	ディスカバリ・サービスの運用開始	
25	2013	春日政治（法文）・和男（文）父子の旧蔵書が寄贈される	
28	2016. 1	九州大学オープンアクセス方針策定	
	4	伊都図書館グランドオープン（全面開館）	
	6	「Library Lovers' キャンペーン」が国立大学図書館協会賞受賞	
	10	伊都地区の新中央図書館第 1 期運用開始	
29	2017. 9	新中央図書館第 2 期竣工	
30	2018. 3	文系合同図書室閉館	
	7	中央図書館閉館	
	10	伊都図書館から理系図書館に改称 新中央図書館グランドオープン（全面開館）	



滋賀文庫（工学部五号館）（2009 年）



新中央図書館第 2 期竣工（2017 年）



データで見る図書館の変遷

★中央図書館

年度	1922 (大正 11)	1940 (昭和 15)	1960 (昭和 35)	1970 (昭和 45)	1973 (昭和 48)	1980 (昭和 55)	1989 (平成 1)	2000 (平成 12)	2005 (平成 17)	2012 (平成 24)	2017 (平成 29)
	(附属図書館全体)										
蔵書総数	千冊	96	378	199	242	253	314	389	889	944	968
うち洋書	千冊	-	153	35	44	45	60	88	381	411	369
受入雑誌数	タイトル	-	-	701	1,259	1,416	2,212	2,099	7,611	7,363	4,318
資料費	千円	-	-	4,367	55,308	10,076	85,932	266,630	344,121	501,071	601,862
入館者数	千人	-	-	19	-	-	-	361	380	401	460
貸出冊数	千冊	-	-	5	7	7	26	47	68	75	74
学生数	人	725	-	6,243	10,253	8,616	11,572	14,983	17,724	18,795	19,362
		附属図書館設置			箱崎中央図書館開館			入館者数 ピーク			

★貝塚地区の図書館（室）【文系合同図書室（文・育・法・経含）、記録資料館（産労研・石炭研含）】

年度	1940 (昭和15)	1970(昭和45)						1989(平成1)					2005(平成17)		2017(平成29)	
		法文学	文	育	法	経	産労研	文	育	法	経	石炭研	文系 合同	記録 資料館	文系 合同	記録 資料館
蔵書総数	千冊	233	258	41	158	120	14	408	85	256	236	35	1,292	33	1,536	49
うち洋書	千冊	122	84	21	92	51	2	133	45	143	107	3	566	4	648	4
受入雑誌数	タイトル	-	1,435	525	729	672	323	3,502	910	1,060	1,276	127	6,767	63	4,482	66
資料費	千円	-	14,195	4,955	15,672	13,701	1,020	60,312	15,468	48,944	61,223	6,584	165,738	816	178,943	1,899
貸出冊数	千冊	-	13	3	4	5	1	7	2	8	11	1	48	0	45	-
		昭和37-39に各学部が 貝塚地区に移転						文系合同図書室発足								

『九州帝國大學一覧』『九州大学百年史』『日本の図書館』『九州大学附属図書館年報』『九州大学附属図書館要覧』より

歴代館長 附属図書館長

氏名	所属	在任期間
小川 政修	医学部	大11. 7.17～大14. 4.20
長 壽吉	法文学部	大14. 4.20～昭 2. 5.27
佐久間 鼎	法文学部	昭 2. 5.27～昭 4. 6.18
長 壽吉	法文学部	昭 4. 6.18～昭 6. 7.11
豊田 實	法文学部	昭 6. 7.11～昭 9. 2.23
西山 重和	法文学部	昭 9. 2.23～昭11. 3. 2
春日 政治	法文学部	昭11. 3. 2～昭13. 4. 2
佐野 勝也	法文学部	昭13. 4. 2～昭15. 4.18
干渴 龍祥	法文学部	昭15. 4.18～昭17. 4.20
竹岡 勝也	法文学部	昭17. 4.20～昭19. 5.18
楠本 正繼	法文学部	昭19. 5.18～昭21. 6. 4
進藤 誠一	法文学部	昭21. 6. 4～昭23. 6.15
金田平一郎	法学部	昭23. 6.15～昭24.10. 7
進藤 誠一	文学部	昭24.10. 7～昭24.12.20
古野 清人	文学部	昭24.12.20～昭28.12.23
栗村 雄吉	経済学部	昭28.12.23～昭32.12.23
青山 道夫	法学部	昭32.12.23～昭36.12.23
北川 敏男	理学部	昭36.12.23～昭42.12.22
伊藤不二男	法文学部	昭42.12.22～昭45. 2. 8

記録資料館長

(産業労働研究所・石炭研究資料センター)

氏名	所属	在任期間
菊池 勇夫	法学部	昭 24. 5.31～昭 24.10.31
菊池 勇夫	法学部	昭 24.10.31～昭 26.10.31
森 耕二郎	経済学部	昭 26.11. 1～昭 32.10.31
清水金二郎	法学部	昭 32.11. 1～昭 36.10.31
吉村 正晴	経済学部	昭 36.11. 1～昭 40.10.31
具島兼三郎	法学部	昭 40.11. 1～昭 44. 3.31
吉村 正晴	経済学部	昭 44. 4. 1～昭 44.10.31
正田 誠一	経済学部	昭 44.11. 1～昭 46.10.31
柳 春生	産業労働研究所	昭 46.11. 1～昭 48. 3.31
都留大治郎	経済学部	昭 48. 4. 1～昭 50.10.31
林 迪広	法学部	昭 50.11. 1～昭 52.10.31
中橋 興	経済学部	昭 52.11. 1～昭 54. 4. 1
中橋 興	経済学部	昭 54. 4. 1～昭 54. 6. 1
秀村 選三	経済学部	昭 54. 6. 1～昭 60. 5.31
矢田 俊文	経済学部	昭 60. 6. 1～平 7. 5.31
東定 宣昌	石炭研究資料センター	平 7. 6. 1～平 15. 5.31
荻野 善弘	経済学研究院	平 15. 6. 1～平 17. 3.31
荻野 善弘	経済学研究院	平 17. 4. 1～平 19. 3.31
三輪 宗弘	附属図書館付設 記録資料館	平 19. 4. 1～平 27. 3.31
川波 洋一	経済学研究院	平 27. 4. 1～平 28. 3.31
佐伯 弘次	人文科学研究院	平 28. 4. 1～平 29. 3.31
坂上 康俊	人文科学研究院	平 29. 4. 1～

こちらから
アクセス

<https://elib.maruzen.co.jp/>

Maruzen eBook Library

学術機関向け電子書籍を配信！

■出版社数：約 220 社 ■タイトル数：約 56,000 (2018 年 5 月現在)

Maruzen eBook Library は、
学術・研究機関のための学術情報に特化した電子書籍をご提供する丸善オリジナルのプラットフォームです。

丸善雄松堂株式会社

学術情報ソリューション事業部 Maruzen eBook Library 担当
Tel : 03-6367-6008 e-mail:ebook-i@maruzen.co.jp
営業時間：9：00～17：30 (土・日・祝日、年末年始を除く)

ジュンク堂書店

淳久堂書店

丸善ジュンク堂書店 外商部 福岡営業所

電話・092-738-3405 F A X・092-717-7321



柴田 篤（九州大学名誉教授）

箱崎キャンパスの図書館には思い出がつまっている。文学部に進学した時からお世話になった書庫。廊下を隔てて研究室の隣にあった。演習の準備をおそらくまでしていく必要的な本はそこで待っていた。書物を探して読むことの中に学びと喜びとがあった。中央図書館地階の保存書庫に入って古籍を手に取る。過去の人々と交わる至福の時であった。すべては書庫から始まった。

図書館がかもしだす特別な雰囲気。多くの本と人との出逢い。折折に中央館で開かれた貴重文物の展示。職員と教員とが共に学んだ漢籍講習会。新たな図書館の構想を何度も語りあった会議。そして、図書館や図書室の営みを支えてきた数えきれないほどの人々のこと。思い出はつきない。

すべてが私の心の奥底でとこしえに生きつづけることだろう。

黒木 彬文（元九州大学法学部講師）

箱崎の図書館が遂に糸島のキャンパスに移転する時期がきた。遠くになり、なにか拠り所がなくなる思いがする。いまは文系合同図書室と呼ばれているが、以前は法学部、経済学部、文学部、教育学部のそれぞれ独立した図書室であった。

1968年の学園紛争時には、法学部図書室の入口ドアも内側から太い角材でブロックされ書庫が防護されていた、そんな時代もあった。

最も利用したのは法学部図書室だが、その他の文系図書室や中央図書館もよく利用した。書庫に入って目指す本を探しながら、オヤッこんな本があるのか、と思いもしない本との出会いは醍醐味のひとつであった。夜、中央図書館3F東側の窓際でひと息いれると、鹿児島本線の貨物列車が通り過ぎていく音が、遠くコトッコトッと闇をとおして聞こえてきた。工学部通用門近くの大正建築の旧附属図書館では、書庫4層の薄暗がりのなかで、明治期雑誌の頁を繰って記事を探していると、見事な錦絵の挿絵に出くわし息を呑んだこともある。懐かしい思い出は尽きない。新キャンパスでの九大図書館の発展を期待します。

岡本 好古（元早朝勤務担当職員；2012-2017年）

毎朝、図書館と共に、一日をはじめることができました。勤務を通じ、お会いすることのできた、すべての人に感謝いたします。ありがとうございました。

西嶋 武（元職員；1988年3月退職）

「旧中央図書館（現保存図書館）の封鎖」

昭和44年7月1日、学園紛争たけなわの頃の早朝、突然中央図書館は、活動家学生達によって、全館が完全に封鎖され、中央図書館の宿直勤務に就いていた職員1名も、館外へ出されてしまった。

図書の整理に必要な英文タイプライター類やその他の必需品も、持ち出す暇がなかった。

その後、学生との話し合いで、整理に必要最小限な事務道具の持ち出しを認めさせた。

一方、受入掛は市内の書店業者の倉庫を借り受け、図書の受入作業を開始し、予算の消化に務めた。

同年の8月10日、活動家学生の退去によって、中央図書館の封鎖は解除された。

館内は、複数の個室を除き、封鎖前と変りなく、室内の乱れは少なかった。

短い封鎖期間であったが、その間、人身事故もなく終了したことは、幸いであった。

樋口 伸子（元職員；2002年3月退職）

九大での始まりは理学部図書室で、資料の寄贈・交換業務につく。国内外の大学や研究所が出す紀要類の受入と交換発送の仕事は、世界の都市の空気が入って来るようで想像が膨らんだ。旧ソ連邦やインド近隣国からの資料は紙質が悪く、異臭混じりに破損しかけて届くことも再三だが、封筒に裏張りされた薄布の色柄も珍しく、剥いで取って置いた。また、キリル文字のソ連辺境国からの山積み本の中にアラブ系の見慣れぬ文字が。

併記英語からグルジア（現・ジョージア）共和国のトゥビリシという都市名とわかった。数理系の専門誌の数字や記号ばかりの内容を眺めながら、簡単な事務書簡を交わす内にこの大学と都市に親愛感を抱く。数年後ミニシネマ館で『ピロスマニ』という画家の生涯を描くショールド牧歌的な名画に感動する。その映画の舞台こそグルジアのトゥビリシだった。偶然に観た呑み仲間が「ピロスマニを観た会」と称してまた集う。編集者、記者、絵描きなどだ。

さらに後年、ピロスマニ展が日本で開催、画集も出た。グルジアはロシア圏の政変と内紛下に長くある。その歴史情勢は映画にもばかして描かれていた。昨年、ピロスマニという名のワインを幾度も映画を観た友から戴く。映画にも登場した古来の名酒、ジョージア（グルジア）の逸品だ。素焼きの土の容器もいい。何と、まあ、トゥビリシの交換誌を手にしてから50年にもなっているとは！！

他にも仕事で出遭った未知の地名から広がった本の領土は多くの慰めをもたらしてくれた。理学部を出てから中央図書館、分館、学部図書室を行き来する凡庸な司書だったが、始まりの僕倅と上司や同僚たちの支えで、豊かな余滴に出あえたことに感謝する。

OA機器の総合商社
株式会社フジモト

営業部 2課主任 上田尾 浩

本社 〒803-0801
北九州市小倉北区西港町61番15号
TEL 093-561-7531(代)
FAX 093-561-7535

福岡店 〒812-0016
福岡市博多区博多駅南6丁目2番30号
TEL 092-411-0492(代)
FAX 092-411-4091



有限会社 アート事務器販売
文具・事務用品・OA機器・スチール家具

〒813-0034

福岡市東区多の津4丁目19-3

TEL 092-611-9242

FAX 092-611-3396

Eメール info@artjimuki.co.jp

写真展「ありがとう箱崎キャンパス」来場者の皆様からも、たくさんのお手紙をいただきました

九大で過ごした6年間は
宝物のような時間です。
中国の地下で貴重書を
よきよきと読み歩いていたのも、
とても懐かしく思い出します。
H22年、少しも箱崎キャン
パスの面影を思ひ出せるような
再開式であることを願います。
Y.K.

在学中は本当に毎日図書館に
通って勉強していました。
一緒に勉強していた仲間には
今も一生の友だちです。
本当にありがとうございました！
H22年早稲田卒
H24年箱崎大卒 1111

くずされていく建物を見ながら
登校をするのはとても辛いものか
ありました。でも減らしでできない系馬食
だ。T.ように思います。
たとえキャンパスがなくなりとしても
私の大学時代は「箱崎6丁目10番1号」に
思い出として残りつづけるでしょう。

2014年度入学 法学部

箱崎キャンパス移転前の
最後の年。卒業生です。
中央図書館では、多くの時間を
過ごしました思い出がたくさん
詰まっている大切な場所です！
ありがとうございました。

杉本

学生時代のおもいで
いつもいた箱崎キャンパス。
ここで学んだことを財産として
今を生きています。
ついに来たと言葉のまま
ほんとうに嬉しいです。
すみません。
ありがとうございます!!

飛行機の音…
寒…教室…
化粧の音…会話…
日常の何気ないことが
思い出です。箱崎キャン
パスありがとうございました。
M.K.

1984年秋ここで学び
ました。数多くの思い出の場所
がたくさんあるのはさびしいですが、
これから九州大学のさらなる発展
を望んでいます。
ありがとうございました。
福岡市内訪問でした。

箱崎キャンパスは
寒かったです。
楽しい学生生活を
ありがとうございました。

中国書館でラスト勉強や
就活のESを書いていた思い出
公衆wifiも早く導入され
研究もここでやってたななど。
よっかねさまいち。
2007年卒

コミュニケーションソリューションをトータルサポート。

AUDIO/VISUAL/COMMUNICATION



BEST QUALITY OF COMMUNICATION

<http://www.sanwacom.co.jp/>

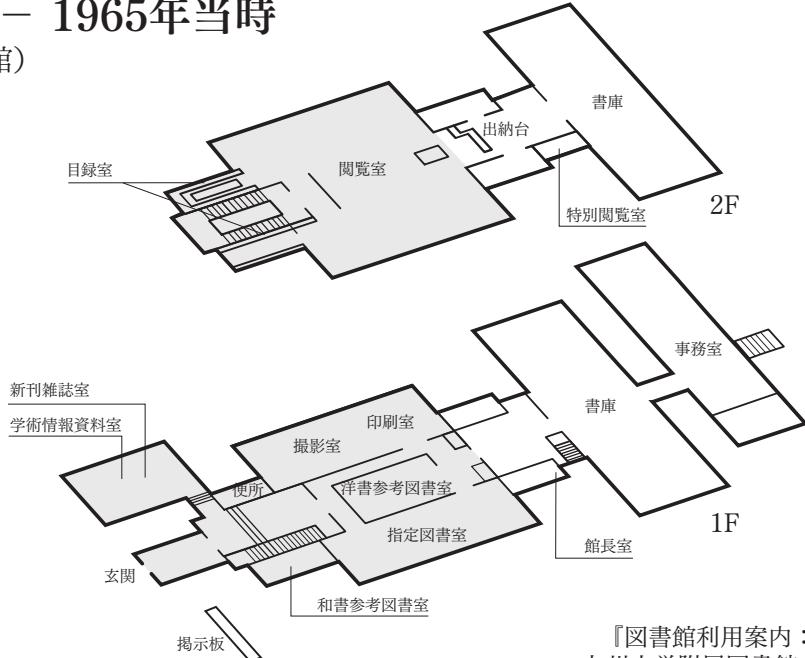


三和通信工業株式会社
SANWA COMMUNICATION CO.,LTD.

〒814-0101 福岡市城南区荒江1丁目6-11
TEL 092-841-3030 / FAX 092-841-4138

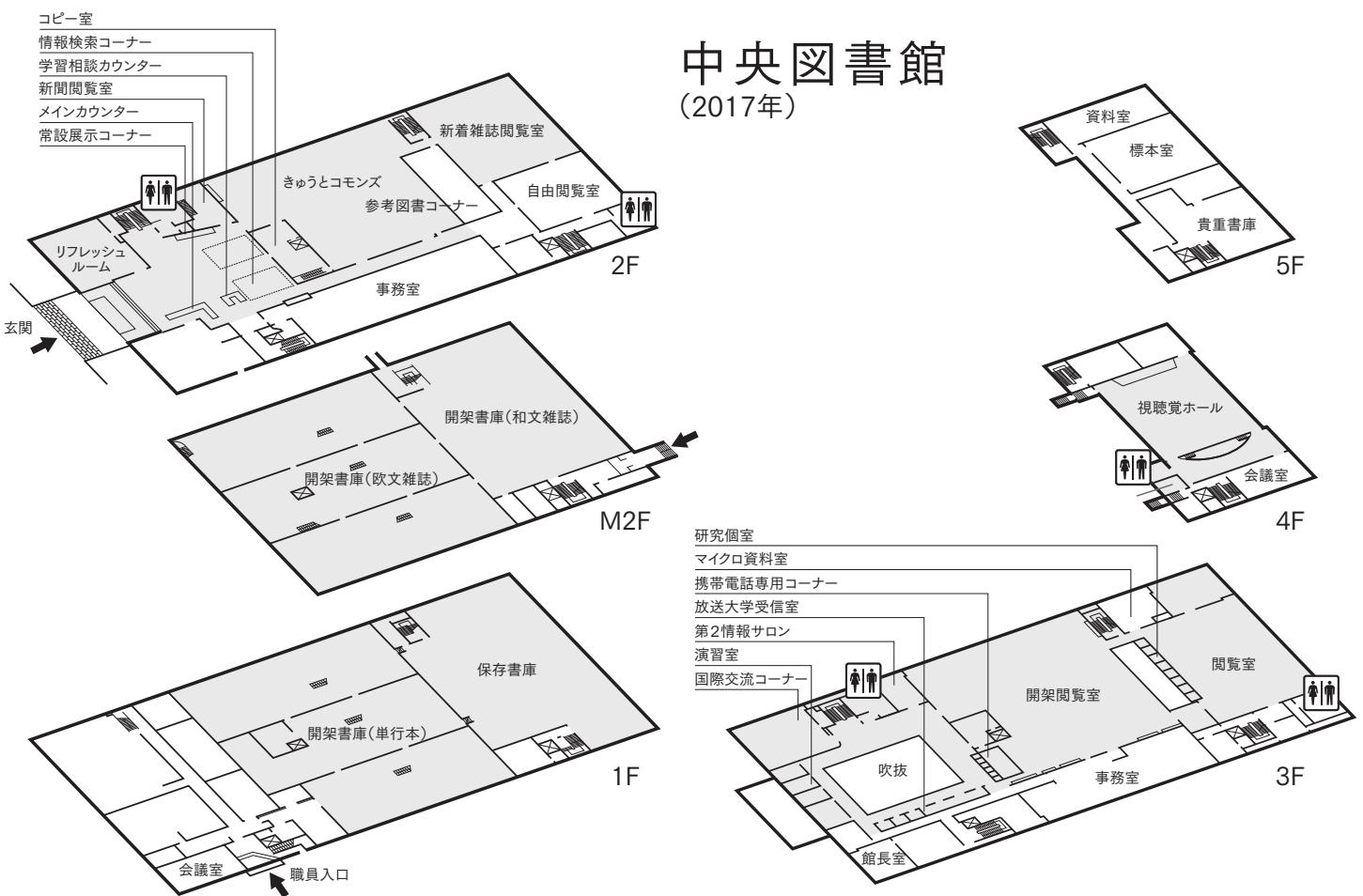
中央図書館 – 1965年当時

(現在の保存図書館)



『図書館利用案内：中央図書館利用の手引』
九州大学附属図書館, 1965 年, p.10-11 より参考

中央図書館 (2017年)



学術洋書・eBook・データベース販売

福岡海外株式会社

〒818-0001 福岡市中央区天神 4 丁目 1 番 18 号

電話 092-741-2685 / FAX 092-741-8418

E-mail: fkaigai@lime.ocn.ne.jp <http://fukuoka-kaigai.jimdo.com/>

FEMA(米国連邦緊急事態管理庁)に関するオンライン一次資料集

米国国立公文書館(NARA)所蔵

連邦緊急事態管理庁(FEMA)記録

オンライン・アーカイヴ

自然災害からテロまであらゆる災害を想定した
危機管理を実現するために創設された
FEMAに関する文書を収録

【買い切りタイプ】1,490,400 円(税込)
別途年間管理費 32,400 円(税込)

【主編者】伊藤 潤 (防衛大学校 GS 共同研究員)

オンライン版

出版・発売元

 極東書店

貴重

周 禮

碩文庫
シ
37

和 中 六卷

明版

(松井羅州舊藏書)

Y5,000

碩文庫

文館

8.8.18

93645

↑戦前の古い目録カードには、蔵書印や旧蔵者についてなど書誌学的に重要な書き込みが見られ、当時の図書館員の見識の高さが窺える。

1910~20年代



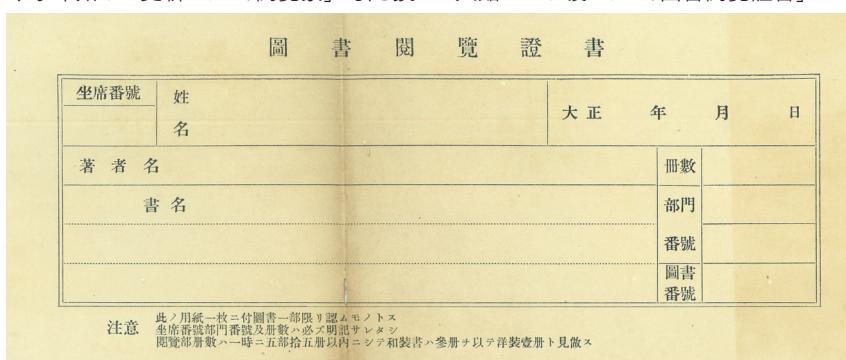
←蔵書印。時代とともに小さくなっている、現在では蔵書印の代わりに資料IDバーコードが貼られている。

1947年以降

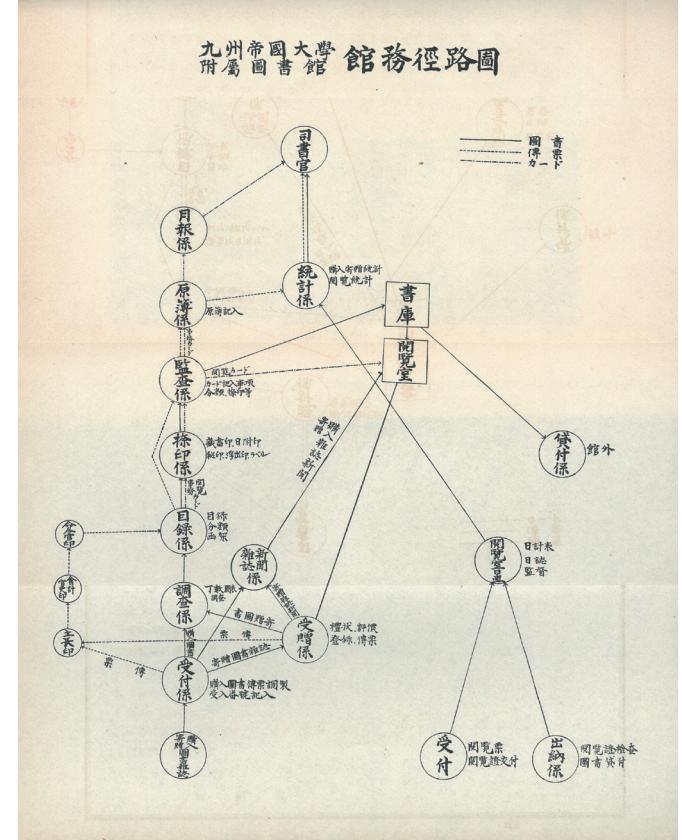
昭和初期



↓学年始めに更新される「閲覧票」と引き換えに入館のたび渡された「図書閲覧証書」



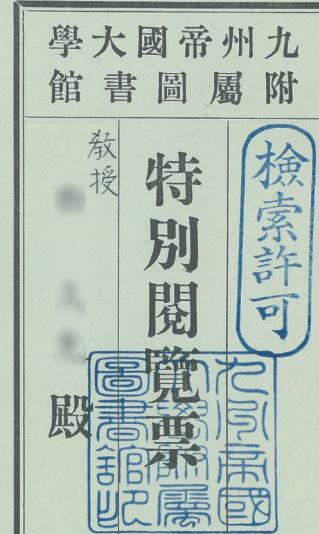
注意 この用紙一枚二枚限り認めモノトス
座席番號部門番號及冊數ハ必ず明記サレタシ
閲覧部冊數ハ一時三五部拾五冊以内ニシテ和裝書ハ參冊ナシテ洋装壹冊ト見做ス



↑附属図書館初の図書展覧会である「図書館学参考書展覧会」(昭和3年)にて展示された館務経路図。図書の受入から閲覧まで、図書館の事務組織が複雑であることを観覧者に知らしめた。

↓当時は図書館職員のみ入室できる開架式書庫が一般的であり、教員が書庫に入るには特別閲覧票の交付を受ける必要があった。(1930年頃)

アイテムで見る
図書館の歴史



～メディアを通して
豊かさを創造する～

株式会社 碩文館書店
〒815-0082
福岡市南区大楠2-23-5
本社 092-526-2311
外商部092-521-1711
gaisyo1@sekibunkan.co.jp

お問い合わせ
九州大学生生活協同組合
文系購買書籍店
〇九二一六五一一一五二九

九州大学百年史 写真集
絶賛発売中

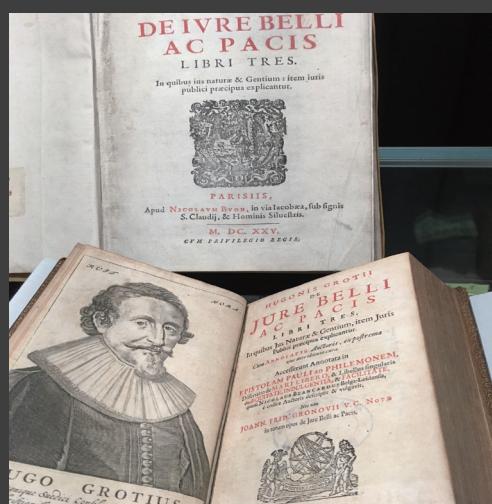


九大百年

編集 九州大学大学文書館
発行 九州大学百周年記念事業委員会
販売 九州大学生生活協同組合
■仕様 A4判/280頁
上製本
特別価格 1,980円



[19] カウンター
文系の利用者は、先生も学生もたくさん本を借りる。
カウンターではよく本が山積みになっていた。



[21] グロティウス『戦争と平和の法』
法学部のグロティウスコレクションは有名。
世界的にも貴重な1625年の初版本も所蔵している。



[22] 貴重書室
文系合同図書室の宝がここに。蔵書の豊かさは、価値ある書物を苦心入手してくださった先生方のお陰。



[20] 閲覧室
カウンター前にある閲覧席は唯一の学習スペース。
判例集が並ぶ。3つあった窓口は順次閉鎖され、
最後に残ったのは旧法学部の第一窓口だった。



[23] 2階新着雑誌
室から見る桜
特に夜ははっとするほどの中さ。



[24] 書庫の不思議
南側と北側で階層が異なることを理解していないと、何階にいるのかわからない。南は5層、北は4層構造だった。黒電話は迷子用？



[25] 北書庫1層



[26] 南書庫1層

\Orchestrating a brighter world

NEC

<http://jpn.nec.com/>

NEC 九州支社 | 〒812-8626 福岡市博多区御供所町1-1(西鉄祇園ビル) TEL:092-271-7700(大代表)



書架はどれも飽和状態。床にすのこを敷いて資料を配架している場所もあった。
4学部異なる分類法で配架されていた上に独自分類はどれも難解。資料を探して右往左往するのは当たり前で”迷宮”とも言われた。



[27] 産業経済資料部門
収集・保管されたのは「古文書」だけではなかった。展示室には炭鉱会社の看板や古い川船(川ひらた)の模型もあった。



[28] 九州文化史
資料部門
戦前から史料蒐集を進めてきた九州文化史には、古い史料保存箱も保管されていた。箱の文字は右から左へ読む。



[29] 産業経済資料部門1階廊下



[31] 入口



[30] 九州文化史資料部門



[32] 内観

写真提供:

[16] …桂木勝彦様
表紙中央 [17] [18] [19] [20] [22] [24] [25] [26]
…法学研究院アントニヨ・フォルマシオン先生

オフィス家具・事務機器・事務用品・紙製品

キングテック株式会社 福岡支店

福岡市東区松島1丁目34番17号

電話: 092-622-4400

— <http://www.aminaka-group.co.jp> —

本社: 北九州市小倉北区東港2丁目5番1号

電話: 093-561-4117 (代表)

支店: 福岡・大分・熊本・東京

網中グループ: 株式会社網中・株式会社日報



これまで箱崎の図書館たちを利用してくださった皆さん、
本書の作成にご協力くださった皆さんへ、図書館職員一同よりこの場を借りてお礼申し上げます。
これからも九州大学附属図書館をどうぞよろしくお願ひいたします。

ありがとう 箱崎の図書館たち
平成 30 年（2018）年 7 月発行

編集 九州大学附属図書館広報室

発行 九州大学附属図書館

<https://www.lib.kyushu-u.ac.jp/>

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号

092-642-4264

印刷 城島印刷株式会社

平成 30 年 10 月
伊都キャンパスへ引っ越しします

本書の無断複製・転載を禁じます

表紙写真：左から、初夏の中央図書館（2017）、文系合同図書室のカード目録（2017）、保存図書館（2017）

裏表紙写真：左から、建築学科図書室入口（2017）、増築工事後の中央図書館（1987）、文系合同図書室の窓から望む桜（2015）